

ゲームビジネス研究塾

～ゲームで「遊ぶ」人から、ゲームを「仕事にする」人へ!

ゲーム産業のノウハウはいまや遊びの枠を越え、教育・マーケティング・社会課題解決など、さまざまな分野への応用が期待されています。ゲームビジネス研究塾では、ゲームで社会を面白くしたいと考えている皆さんに、実践的な研究やプランニングに参加してもらいたいと考えています。これまで、次のような活動を行ってきました。

大手飲料メーカーに対し、スマホゲームアプリを使った販促提案を実施

東京都渋谷区の手飲料メーカー様に対し、スマートフォンアプリを使った販売促進提案を行ないました。同社で販売する野菜ジュースは、競合他社に比べてブランド力や販売量で大きく出遅れており、私たちは新しいタイプの販売促進策が必要と考えました。そこで商品の想定ターゲットを「5～8歳の子供とその母親」に設定し、野菜摂取の大切さや成分を認識させる食育型プロモーションのプランを進めました。

まずは、野菜ジュースの成分であるニンジン、セロリ、トマト、ブロッコリーなどを擬人化した「やさしい忍者」のキャラクターづくりから始めました。彼らが「病気」や「肥満」の化身と戦って活躍するストーリーを設定し、それをスマホアプリの「触る絵本」として提供するのが企画の趣旨です。「やさしい忍者」をキャラクターとした商品パッケージでアイテムやポイントをゲットしたり、公式ゲームアプリへの誘導を図ったりする立体的なプロモーションも考案しました。

テクニカルな面においては、(株)ファランクススタッフの皆様からもアドバイスを頂き、パワーポイントの企画書だけでなく、簡単な動画ファイルも製作してプレゼンテーションに臨みました。飲料メーカーの広告宣伝スタッフの皆様からは、「ゲーミフィケーションという言葉は初めて聴いて、大変興味を持った」「学生の提案としては図抜けていた」と絶賛の言葉を頂きました。



㈱手塚プロダクション様と提携して発想カードゲームを開発

㈱手塚プロダクション様と提携し、発想カードゲームの開発を行いました。

本学が立地する新宿区高田馬場は、「漫画の神様」故・手塚治虫氏が数多くの作品を生み出した街です。現在でも著作権を管理する手塚プロダクションが存在し、駅のキャラクター壁画、商店街のキャラクターフラッグ、JRの発着チャイムなどが手塚作品で彩られています。また、地域通貨として「アトム通貨」が導入された点でも注目されました。最近では、ラグビー日本代表応援キャラとして鉄腕アトムが使われたりもしています。

手塚治虫の創作したキャラクターは多様であり、今日でも色褪せることなく、その個性は光り輝いています。私たちは、この珠玉の財産をゲームに活用する方法はないものかと、試行錯誤を繰り返しました。

その結果、1枚1枚に手塚キャラクターを配置させ、それぞれの特徴に沿った「発想センテンス」(創造性開発技法という強制発想ワード)が書かれたカード(40枚1セット)の考案に至りました。このカードをゲーム感覚でめぐりながら、グループでアイデア開発ワークショップができるというもので、マーケッターや授業科目などで何回か実験的に試用を試みたところ、好評を博しました。

本カードゲームは、西武信用金庫様より「地域産業応援資金」を授与して、開発・製造することになりました。また、次のような形で地域経済支援に向けて、アイデア開発ワークショップを軸にしたセミナー展開を行いました。

- 「ヒト×マチ教室 2016」における地域企業・商店・学生を対象としたワークショップの開催
(アトム通貨実行委員会・高田馬場新聞主催 2016.11.22 開催 於・東京富士大学)
- 平成 28 年度図書館講座ビジネス情報支援講演会「マンガの神様に学ぶビジネス発想法~手塚キャラクター発想支援カードを使ったアイデア開発ワークショップ~」(新宿区主催 2016.12.10 開催 於・新宿区立中央図書館)
- 東京富士大学特別公開セミナー「手塚キャラクターで発想する地域の未来」(東京富士大学主催 2017.1.27 開催 於・東京富士大学)
- 「ヒト×マチ教室 2016」報告会における地域企業・商店・学生を対象としたワークショップの開催(アトム通貨実行委員会・高田馬場新聞主催 2017.2.8 開催 於・戸塚地域センター)



㈱GP様と高田馬場を「カタン」にするためのイベント（「ばばゼミ」）を開催

デジタルゲーム全盛の時代…と思いきや、全国にボードゲームカフェが誕生したり、ゲームマーケットへの展示・参加団体が13000を超えたりするなど、ボードゲームやカードゲームなどのアナログゲームがいま、静かなブームを形成しようとしています。そうした人気を牽引してきたのは1995年にドイツで発売された「カタン」で、いまや全世界で親しまれているボードゲームの王者ともいえる存在です。

㈱ジーピー様は「カタン」の日本における製造元・総販売元であり、本社の立地する新宿区高田馬場の活性化や地域住民・学生とのコミュニティ形成に向け、これまでも「高田馬場カタン祭り」をはじめとする普及策を展開してきました。

高田馬場地域で毎年開催される、街の達人にスゴ技を教わる「ばばゼミ」（高田馬場新聞主催）の一環で、カタンの日本における製造元・総販売元である㈱ジーピー様と、東京富士大学ゲームビジネス研究塾の連携により、「カタン入門教室 in 東京富士大学」を開催しました(2017.11月)。

当日はボードゲームに関心のある方、ゲームを通じた地域交流・国際交流をしたい方、「カタン」のルールは知っていて誰かとプレイしてみたいという方が参加され、楽しいイベントになりました。

